

# 進捗報告

---

水野泰旭

October 31, 2022

弘前大学工学部電子情報工学科 4 年

## Deep\_Conv ①<sup>1</sup>

1. 畳み込み層 (16, ((3, 3)))
2. MAX プーリング ((2, 2))
3. 畳み込み層 (16, ((3, 3)))
4. MAX プーリング ((2, 2))
5. 畳み込み層 (16, ((3, 3)))
6. MAX プーリング ((2, 2))
7. 畳み込み層 (16, ((3, 3)))
8. MAX プーリング ((2, 2))

---

<sup>1</sup>活性化関数は Relu を使用

## Deep\_Conv ①<sup>2</sup>

1. Flatten 層
2. ドロップアウト層 (ドロップアウト率 0.3)
3. 全結合層 (64)
4. ドロップアウト層 (ドロップアウト率 0.3)
5. 全結合層 (64)
6. 出力層 (5, 'softmax')

---

<sup>2</sup>活性化関数は Relu を使用

Test Accuracy: 0.949519

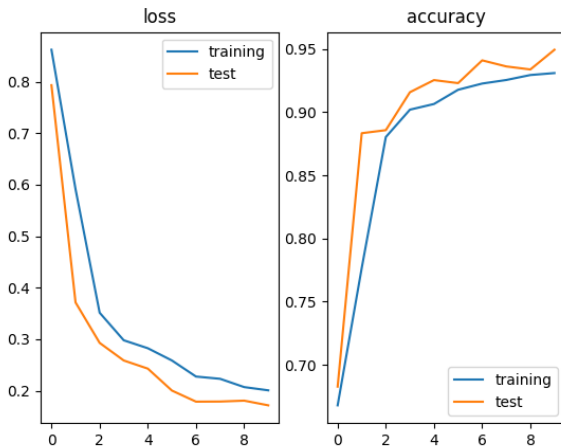


Figure 1: 学習率 0.01

Test Accuracy: 0.956730

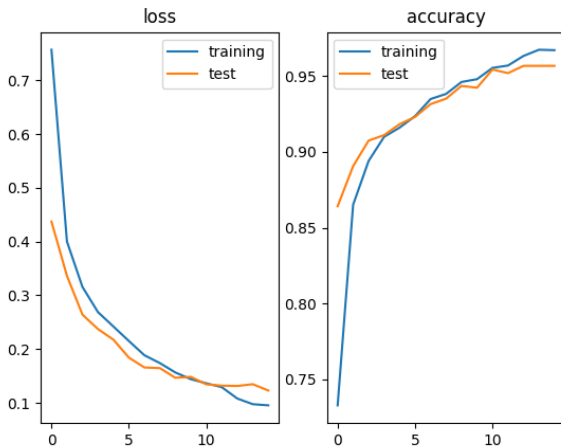


Figure 2: 学習率 0.001

# これから取り組むこと

- ハイパーパラメータの調節
- 交差検証
- 間違えた画像を調べる